

(生活・行政サービスの向上－2)

巡回移動連絡車による行政サービスの取り組み (鹿児島県薩摩川内市)

【概要】

薩摩川内市は、全国的にも稀な外海離島(甕島)を含めて誕生した市で、甕島の中でも、特に下甕地域は、支所までの距離が遠く交通の便が悪い集落が多く過疎と高齢化が進行している集落が点在している状況にある。

この点する地域住民に対する行政サービスの向上は、従前から大きな課題であった。そこで、平成20年2月にこれらの問題を解決するため、巡回移動連絡車と地区コミュニティセンター間を専用のネットワークで結び、通常窓口と同様のサービスを実現できる新たな巡回移動連絡車を運用することとした。

【コラム】

甕島下甕地域では、市町村合併前から巡回移動連絡車による地域に出向いての証明交付事務のサービスを行っていた。しかし、その方法はFAX送信によるデータ転送のため、証明書の印字が不鮮明で、かつ支所職員の対応も必要であり、誤送信などのリスクもあった。

そこで、平成17年度に証明書自動交付機を導入したときの住基カードを利用したシステムに変更することで、これらの問題点解決と住民に対するサービスの向上につながるシステムとして考案した。

これは、巡回移動連絡車と地区コミュニティセンター間を専用のネットワークで結ぶことにより、車内で通常窓口と同様のサービスを実現するものである。

具体的には、下甕地域の各地区のコミュニティセンター等5ヶ所に、専用端末とプリンタを搭載した車が事前に計画された日程で定期巡回し、住民は、指定の時間帯に出向くことにより車内で市役所の窓口と同様に端末を使い証明書発行を受けられるサービスである。

また、巡回移動連絡車からは無線LANで各地区のコミュニティセンターネットワークとアクセスすることにより、車載バッテリーからのインバータ電源供給と併せ、有線によるネットワークや電源供給が必要としないシステムで、操作性が高いものとなっている。

戸籍謄本等の交付についても平成22年7月に認容され、現在、住民票の写し、印鑑証明書、所得課税証明などとともに交付を行っている。

なお、このサービスは対象地区の高齢者を中心に大変好評であり、本市の高齢化や交通アクセス等の現状を鑑みると、今後は、本年3月から開始予定であるコンビニ交付サービスと併せて、全市域の同様の地区コミュニティセンター等にも導入できないか検討していく必要がある。

〔事業費(うち、公的な補助額)〕

【導入経費】

○車両、備品一式	3,245,000円
○ネットワーク、端末構築経費 一式	2,045,400円
合 計	5,290,400円



自然豊かな甕島のナポレオン岩

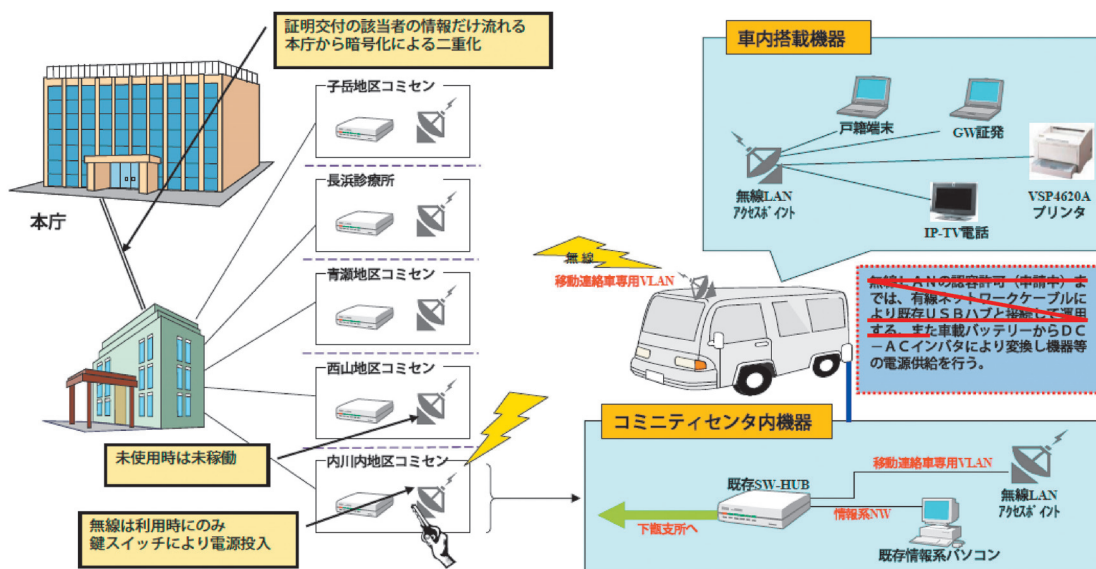
(うち、(財)地方自治情報センター(LASDEC)半額助成)

【維持経費】

- 燃料代、整備費(年間)…………… 300,000円程度
- ネットワーク等保守経費(自動交付システムと共用のため費用の発生はない。)

巡回移動連絡車機器構成図

移動連絡車に無線LANアクセスポイントを搭載し、各コミュニティセンターに到着することで通信が可能となる。各コミュニティセンター設置の無線LAN環境を移動連絡車専用VLAN構成とすることで、移動連絡車側端末の環境変更を意識することなく業務の運用が行える。無線LANにおいては、暗号化・接続パスワードの設定・MACアドレス制限等によってセキュリティ対策を講じる。
※戸籍証明認可許可 平成22年7月29日付け



■車内では、職員が専用端末とプリンタを使って証明書を発行



■下館地域で導入した巡回移動連絡車の外観

(問い合わせ先)

薩摩川内市役所 市民課 住民グループ
TEL:(代表)0996-23-5111
e-mail:jumin@city.satsumasendai.lg.jp